工事完了報告書

見直し・反省点・改善点

（次回の工事にすべてを継承するために・・・）

作成日　平成30年5月　7日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工事名 | 国際物流拠点産業集積地域賃貸工場新築工事(35号棟･建築) | |
| 工期 | 平成29年5月17日～平成30年3月20日　(完了は当初　平成30年 2月10日) | |
| 発注者 | 沖縄県土木建築部　施設建築課 | |
| 担当者 | 現場代理人：髙宮城　操 | 主任技術者：野崎　功　㈲丸清建設工業 |
| 監理技術者：島袋　和也 | 技術員：仲宗根　啓 |
| 工事概要 | 新築工事  　Ｓ造　2階建　延床面積 1,987.37㎡  　鉄筋使用量：156.45ｔ　コンクリート使用量： 建築本体：1,477.0m3  　鉄骨使用量：134.4ｔ 外構工事：　 44.5m3  請負金額　：　\421,723,800(税込み)  　変更請負金額：\441,606,600(税込み) | |
| 品質目標 | ・安全管理を徹底し、『災害０』を目指す。  ・企業局評定80点以上を目指す。 | |
| 環境目標 | ・工事騒音と振動の発生を抑制する。  ・資機材落下による水質の汚染を防止する。 | |

１．工事の見直し及び反省点（成果及び改善項目）良かった点・悪かった点の明確化

|  |  |
| --- | --- |
| 原価管理  （粗利目標の達成度） | 全体的には100％以上の達成率であったが、外構工事においては再生材の資材不足による値段の高騰と運送会社の人手不足により、通常の単価で資材を確保出来ず、予算割れした。 |
| 施工管理 | 業界の高齢化、人材不足により、作業員の確保が年々、難しくなってくるのを感じる。人材を確保する事に奔走するが、いい結果が出ず、現場の工程管理が下請業者任せにならざるを得ない状況が多々ある事に危機感を覚えた。 |
| 安全管理 | 特に杭工事時にはヒヤリハットが2度ほどあり、その点について下請業者含めﾌﾞﾘｰﾌｨﾝｸﾞを行い、再発防止に努めた。又足場、鉄骨の組立に伴い、高所作業が続く事から、講師を招き安全大会にて墜落事故防止をテーマに講話を実施した。その成果０災害にて竣工した。 |
| 下請管理 | 構造上、作業者の技能に左右される特に重要な職種(溶接､圧接、超音波探傷試験等)は、技能者資格者証と顔が確認できる事で顧客に証明出来る様、写真にて管理した。 |
| 顧客評価  (顧客満足度) | 建物自体の出来栄えは十分に満足を得られた。しかし、書類　特に品質管理において自主検査での合格基準値について具体性を求められた事は大いに反省し、今後改善する必要がある。 |
| 顧客とのコミュニケーション | 週1回の工程会議実施の他、臨時ミーティング等、6工区及び別途発注業者の幹事工区として顧客と施工協力会全体の連絡･調整役を務めた。 |
| 地域とのコミュニケーション | 連絡協議会として先導し近接する工場や付近を管理するｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰへ着手前の協力依頼や工事完了の報告を行った他、工事中近隣の道路の草刈りやゴミ拾い等の美化活動を行った。 |
| 書類・記録作成等 | 顧客から指摘のあった書類としての品質管理において、さらに充実した内容になる様、工夫を重ねる必要有り。又、今回は幹事工区とあって、そちらの作業が優先せざるを得ない場合もあり､その他の作業や書類の提出が遅れ気味になる場面もあり、次回より考慮したい。 |
| 目標管理 | ・実行予算原価/実施原価に関しては100％以上達成したが顧客満足度（評価点）に関しては大いに改善の余地がある。 |
| 創意工夫  地域貢献  環境対策 | ･夏場の熱中症対策として対策グッズの活用及び危険個所に対しスプレー表示やマンガ板等を利用し「みえる化」に努めた。  ･連絡協議会による近隣美化活動及び近隣にて開催の自転車競技大会にてコースのゴミ拾いや来場者案内等を実施した。  ･環境対策としては低騒音､低振動､低排出ガス車輌､重機の使用の他、小堤工･沈砂池の設置により赤土流出による汚染防止に努めた。 |

２．今回の工事完了を受けて、次回工事からの改善点の明確化

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 改善の必要性 | 顧客から指摘のあった書類としての品質管理の充実 | |
| 是正処置関係 | 是正処置 | 施工計画書における品質管理項目の明確化と社内合格基準値の明記及び自社自主検査表フォームの統一化 |
| 原因究明 | 合､不合の項目にレ点だけを記載した自主検査表に対して合格基準値の明記が無く、顧客に疑問を抱かれた。 |
| 再発防止対策 | 社内合格基準値等が明記され、且つ統一された自社フォームにて品質管理の自主検査を実施する。 |
| 次回取り入れたい施工・管理方法や工夫など | ･前述の通り業界の高齢化、人材不足により、作業員の確保が年々、難しくなってゆく中、着手前から、あるいは入札前から県内情勢を把握し、人材確保に努めたい。  ･今回創意工夫により土間のクラック防止にコンクリート養生材を散布したが、割と安価なので出来れば継続していきたい。 | |